

家庭科教育に関するアンケート【教員用】まとめ

※記述回答の分析方法について：

ワードクラウドを使用し、テキストマイニングにより分析スコアが高い単語を複数選り出し、その値に応じた大きさで図示した。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。その結果をもとに、設問ごとに考察を述べた。

◆アンケート回答数と内訳

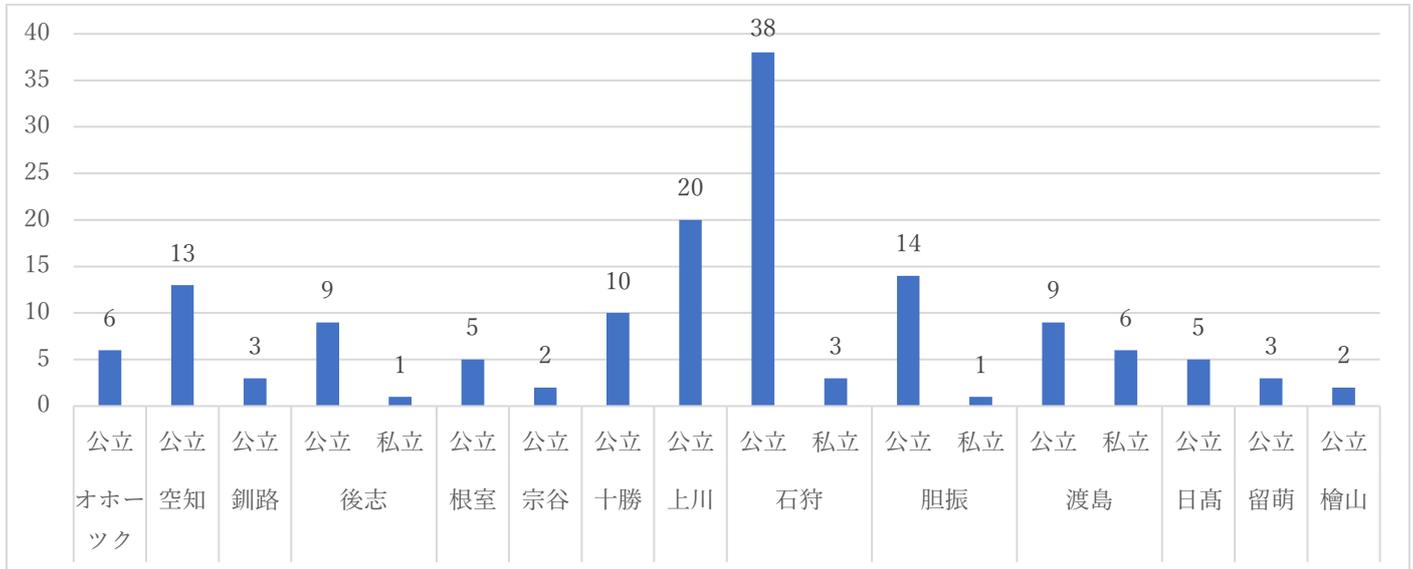
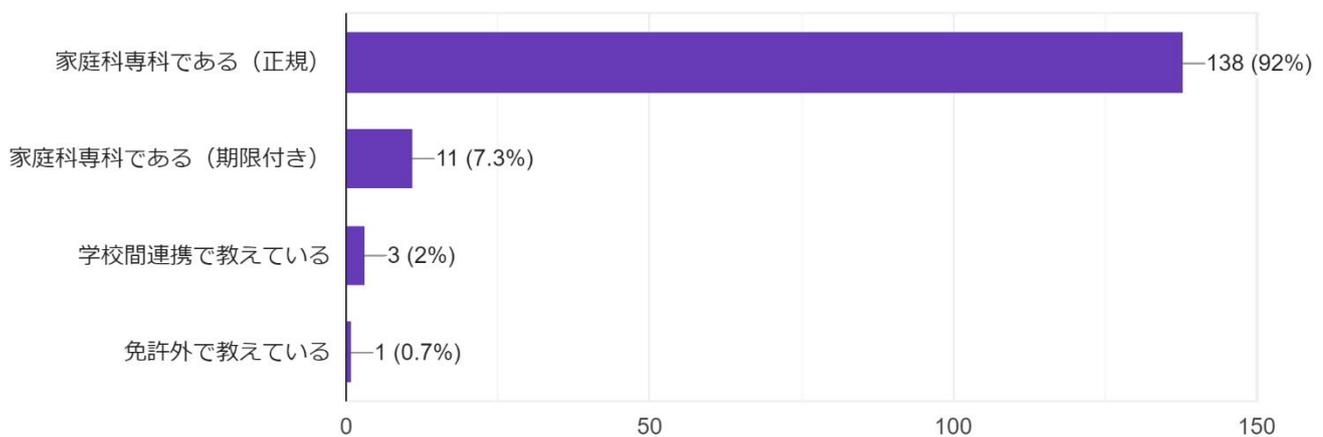


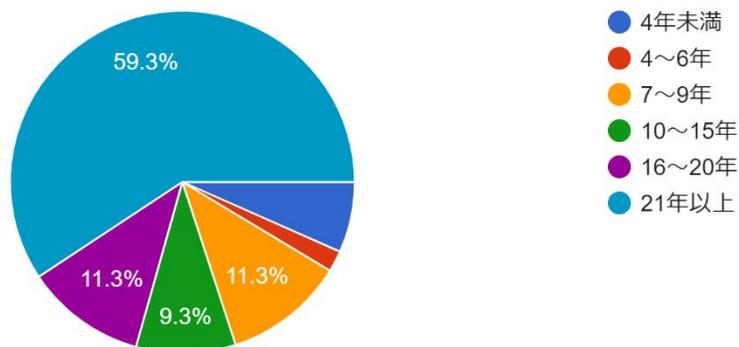
図1. 150件の回答と内訳（※公立は市町村を含む）

◆教員の内訳



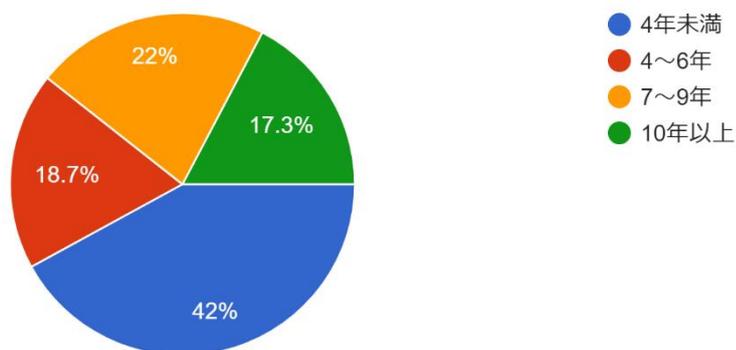
7. 家庭科教諭としての経験年数を教えてください。(期限付き等も含まます。)

150 件の回答

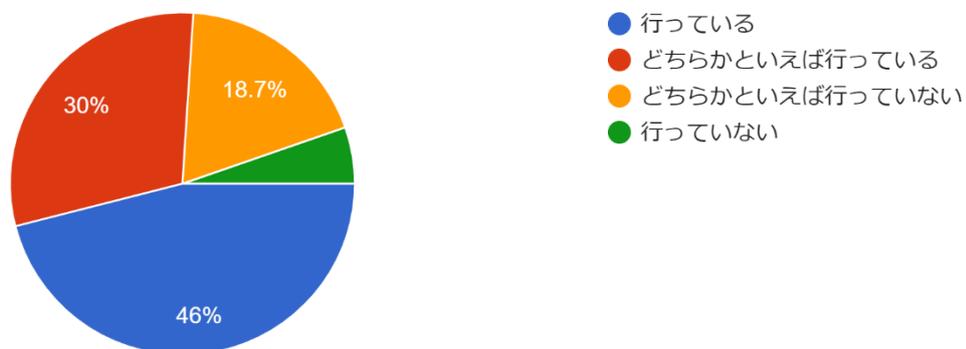


8. 現在の学校での勤務年数を教えてください。

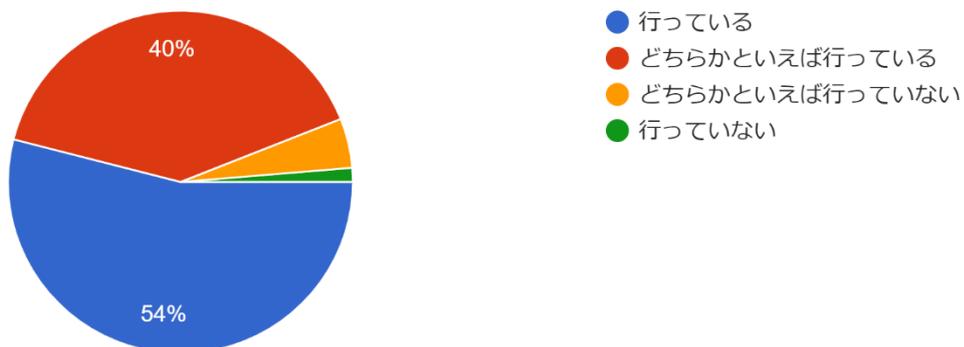
150 件の回答



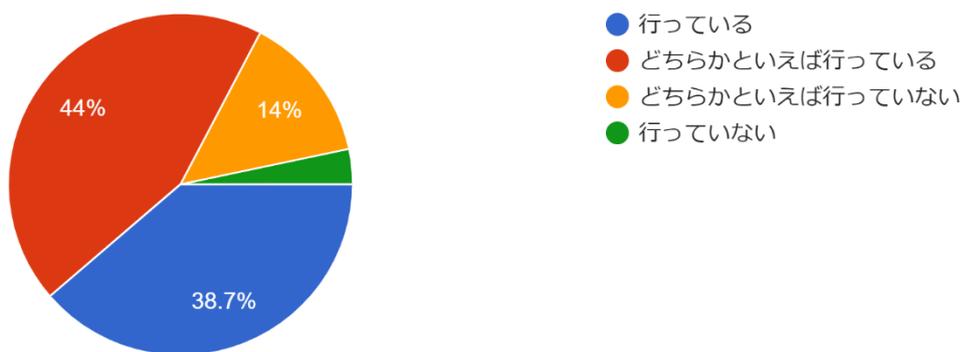
9. 調理等の実習や実験で、繰り返し行わせて知識や技術の定着を図る活動を取り入れた授業を行っていますか。



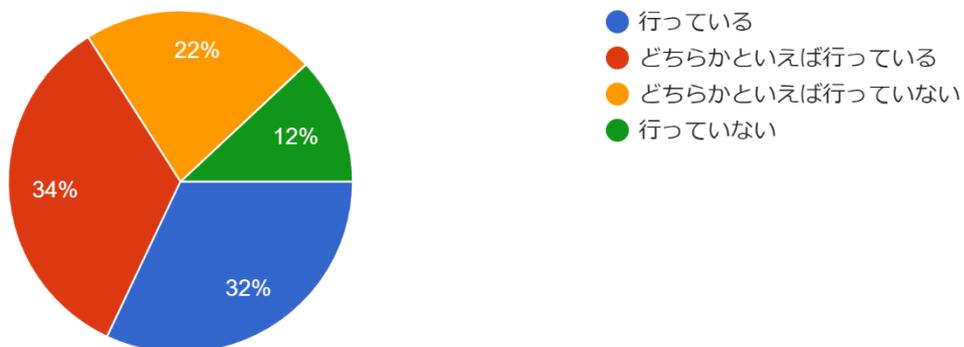
10. 生徒が考えを深めたり、考えたことをまとめたり、発表したりする活動を行っていますか。
150件の回答



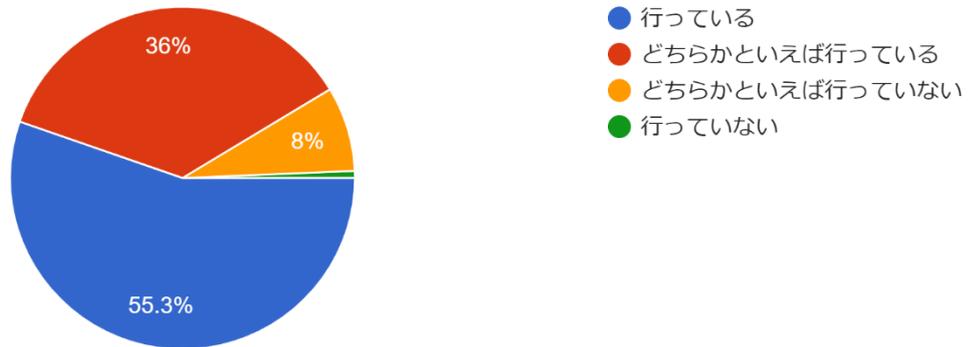
11. 実習や実験、観察などの結果を整理したり、考察したりする学習活動を行っていますか。
150件の回答



12. ホームプロジェクト活動など問題解決的な学習を取り入れた授業を行っていますか。
150件の回答

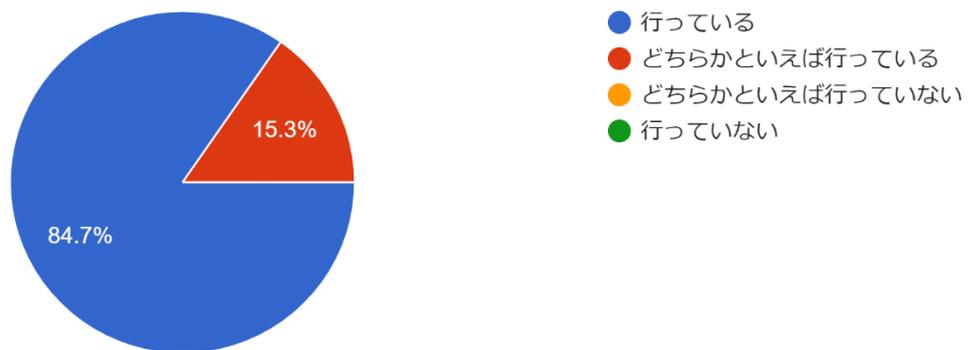


13. シラバスを活用するなど、見通しをもって学習できるように計画を立てたり、学習を振り返ったりする活動を行っていますか。



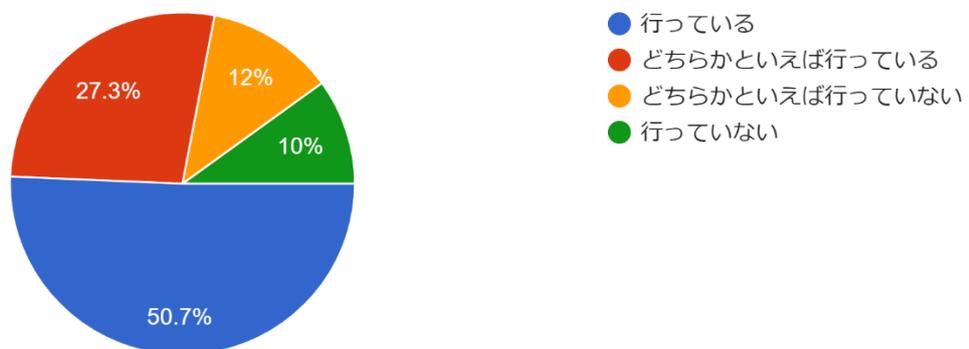
14. 学習環境を整備して、安全と衛生に留意して授業を行っていますか。

150件の回答



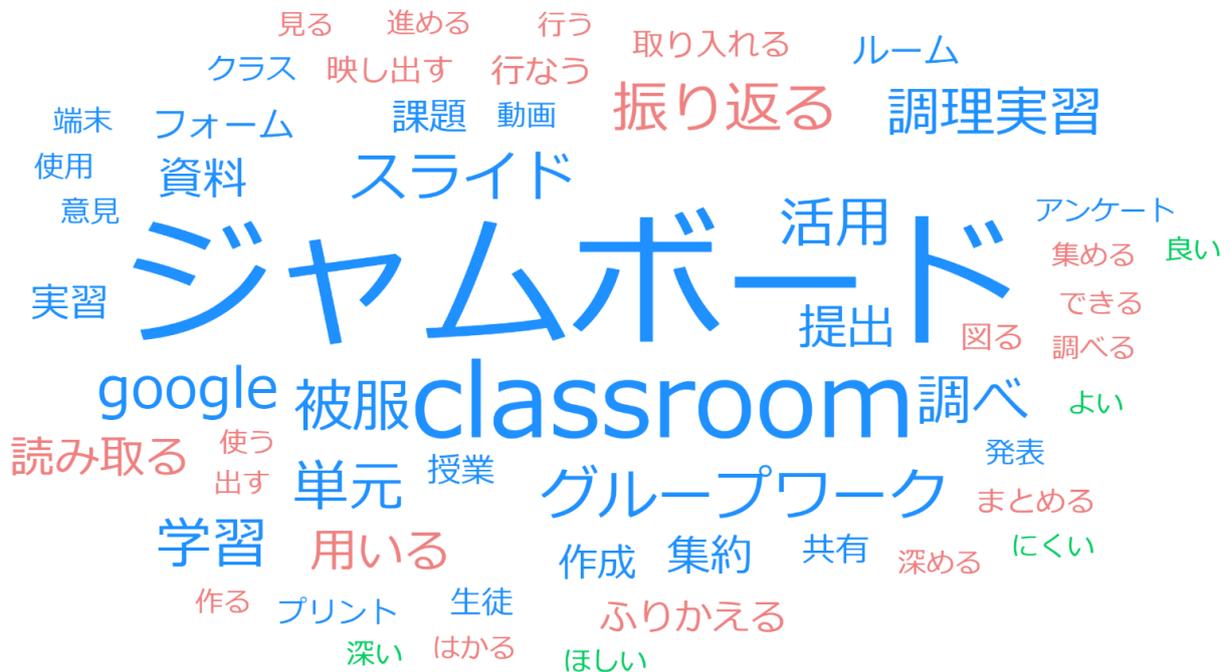
15. 1人1台端末の活用は行っていますか。

150件の回答



16. 上記の質問(15)で「行っている」「どちらかといえば行っている」と回答された方は、具体的にどのような取り組みを行っていますか。また、「どちらかといえば行っていない」「行っていない」と回答された方は、行えていない課題や悩み等を教えてください。

「行っている」「どちらかといえば行っている」:



Google のツール (Google フォーム、Google クラクルーム、Google スライド、ジャムボードなど) を使って、オンライン授業、実習、フィードバックと評価、資料の共有、通信などの教育活動が進められていることを示している。具体的には、理解度確認、課題提出、小テスト、資料共有、連絡、調査学習、プレゼンテーション発表、技術指導、自己評価、他者評価、意見交換、グループワークなどが、これらのツールを活用して行われている。

(1) 効率的なコミュニケーション:

Google のツールを活用することで、教員と生徒、生徒同士のコミュニケーションが効率化されている。例えば、Google Classroom を使うことで、課題の配信、回収、資料の共有、連絡事項の配信が一元化され、情報の透明性が高まり、プリント紛失の防止などの問題が解消されている。

(2) 多様な教育活動:

Google のツール群を活用することで、多様な教育活動 (例: 調理実習、被服制作、保育園実習、意見交換、グループワーク、発表活動など) がスムーズに進められていることが分かる。これにより、生徒たちは様々なスキル (技術的なスキル、コミュニケーションスキル、グループでの協力スキルなど) を身に付ける機会を得られている。

(3) 自己評価と他者評価:

自己評価、他者評価、意識調査、アンケート、振り返り、グループ協議活動など、フィードバックと評価に関連する活動も、これらのツールを使って行われている。これにより、生徒たちは自身の進捗や成果について振り返り、他者と意見を交換し、改善のための意識を持つことができている。

(3) 技術的な不足:

教員は、技術を効果的に使う方法について十分な研修を受けていないと捉えることができる。また、技術的な準備不足や技術面での不足も、デジタル技術の取り入れに影響している。

(4) 時間の制約:

教員は日々のタスクに追われ、新しい技術の取り入れ方を考える「ゆとり」がないというコメントが見られる。これは、技術の導入に向けた計画や準備が不十分であることや学校の勤務形態の課題を示している。